

事業計画書（実績書）

令和3年 3月 31日

団体名 神浪山麓ふるさと会

事業の目的	美しい里山を守るため、神浪山麓の里山を繋ぐ街道を散策しながら美化活動を行います。里山は自治会で定期的にゴミ拾いをされていると思いますが、里山と里山を繋ぐ道は人が歩いて通らない事もあり、ごみが捨てられることが多い。自分の里山エリアだけでなく、隣の里山へ美しい街道を伸ばしていき、綾部全体が美しい里山となる事を願う。
事業の名称	里山を繋ぐ街道の美化活動
事業費 (市補助金)	79,142 円 ( 79,000 円 )
補助金の使途	ゴミ用火箸・ごみ袋・広報（デザイン・印刷・作成）・保険・熱中症対策・コロナウイルス感染症対策・パンフレット印刷
事業の実施期日	令和2年7月26日・9月27日・11月15日・ 令和3年1月31日・3月21日
事業の実施場所	綾部市白道路の近隣の里山を結ぶエリア
事業の概要	白道路から他の町へ続く街道、白道路の5つの最寄りを繋ぐ道を、美化活動（ゴミ拾い）をしながら、歴史や昔話を聞き、白道路町内外の方々と交流が出来ました。 7月:白道路～岸田 参加者12名:白道路内6名・白道路外6名) 9月:白道路～佐里 参加者25名:白道路内17名・白道路外8名) 11月:白道路～向田 参加者9名:白道路内8名・白道路外1名) 1月:白道路の西最寄り 参加者16名:白道路内9名・白道路外7名) 3月:白道路も東最寄り 参加者7名:白道路内7名・白道路外無し)
補助金の効果（成果）	一人一人がゴミを拾う事で、環境への意識を高めて習慣つける事により里山の美化を促進し、綾部市の他の地域に飛び火し綾部全体が美しい里山になる事を期待しておりました。参加していただく方々の健康に繋がり、地域の歴史や文化を学ぶことで郷土愛を養い、お互いのコミュニケーションを図りたいとの目的は達成されました。 活動を通して、一人ではやりにくい事がみんなですると楽しく、心が清々しくなり、又、ごみに対する意識が繊細になり、一人でも出来ことをやろうと言う意識も生まれたと思います。又、白道路の歴史を資料としてまとめられたことも大きな効果でした。

様式第4号（第3条及び第7条関係）

収支予算書（計算書）

令和 3年 3月31日

団体名 神浪山麓ふるさと会

（単位：円）

収入の部	区 分	予 算 額	収入済額	明 細
	市補助金	79,000	79,000	
	自己資金	142	142	
	合 計	79,142	79,142	
支出の部	区 分	予 算 額	支出済額	明 細
	火箸	15,842	15,842	ゴミ拾い用
	ごみ袋	3,009	3,009	綾部市（燃えないゴミ）
	印刷費	20,260	20,260	パンフレット・資料
	保険	6,000	6,000	6回（雨天延期1回）
	飲料（水・お茶）	8,252	8,252	熱中症対策
	塩分タブレット	3,118	3,118	熱中症対策
	消毒用アルコール	4,911	4,911	コロナ対策
	マスク	2,395	2,395	コロナ対策
	ホイッスル	2,624	2,624	危険周知用
	事務用品	1,810	1,810	印刷・作成代
	その他・消耗品	10,921	10,921	文房具・救急用品等
	合 計	79,142	79,142	
	差 引	0	0	